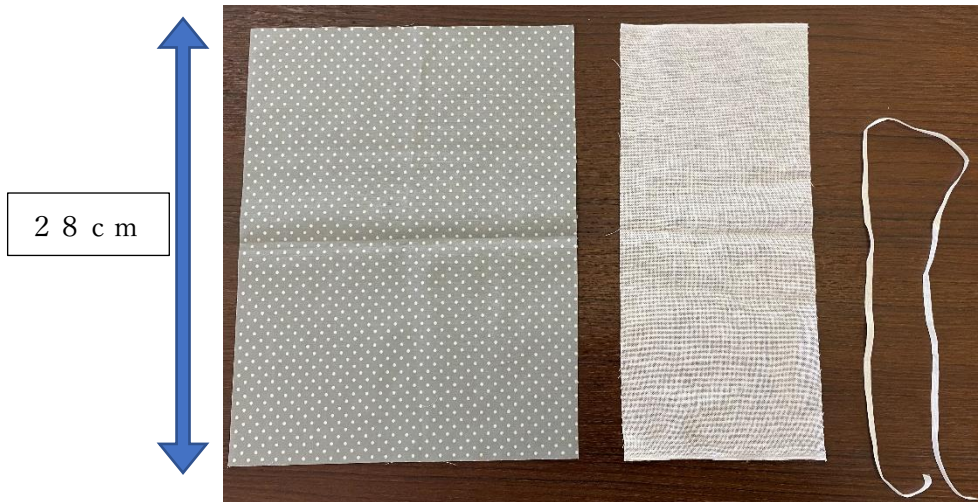


【手作りマスクの作り方】(平面マスク ver.)

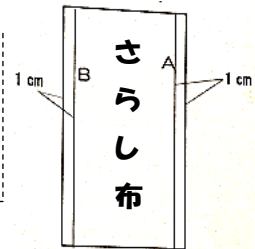
1. 布を裁断する

柄布、さらし布を縦長に置き、縦の長さが28cmになるように、布を裁断する。 ※横の長さは切らない。



2. さらし布の縦の両はしに1cmでしるしをつける

チャコペンで1cm幅にしるしをつける

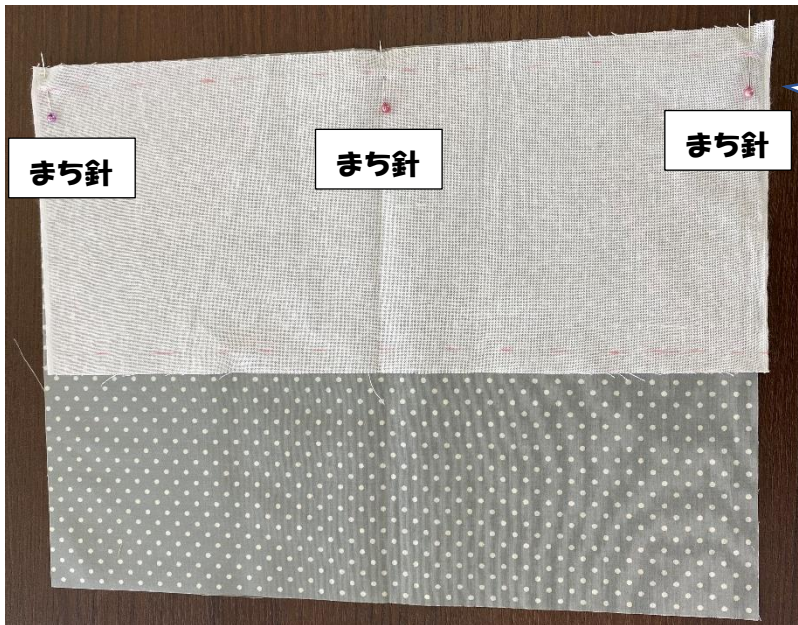
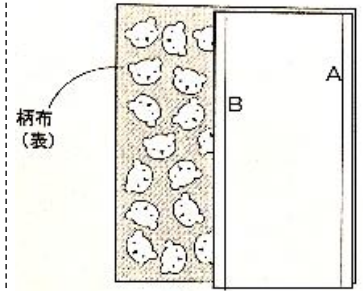
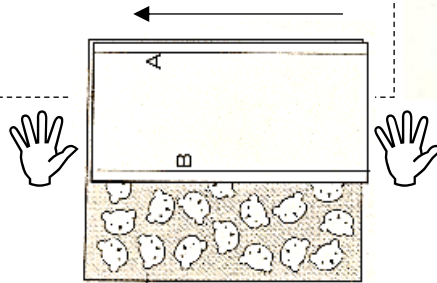
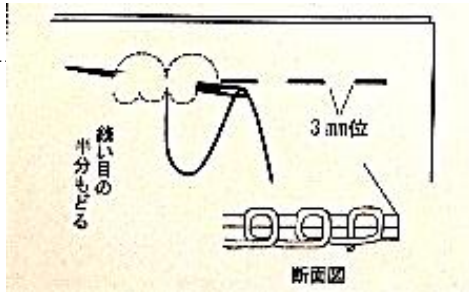


3. 柄布とさらし布を重ねて、まち針でとめ、しるしをつけたところを半返し縫いで縫う

さらし布の右側 (A) に寄せて、しるしをつけた1 cmのところに半返し縫いで縫う。

※A のほうを上側にし、右から縫うと縫いやすい (左利きは左から)

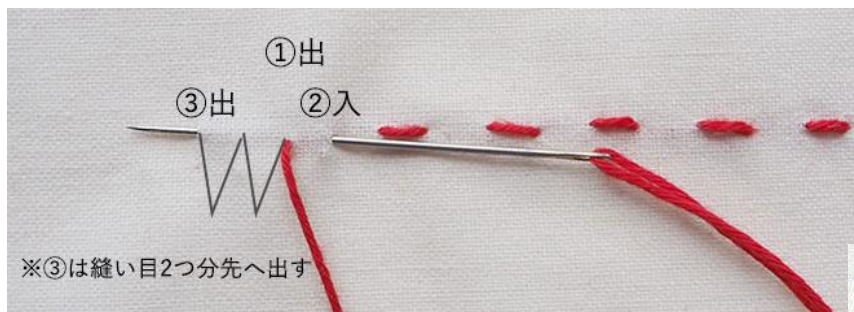
※半返し縫いは下記と教科書 P188 参照



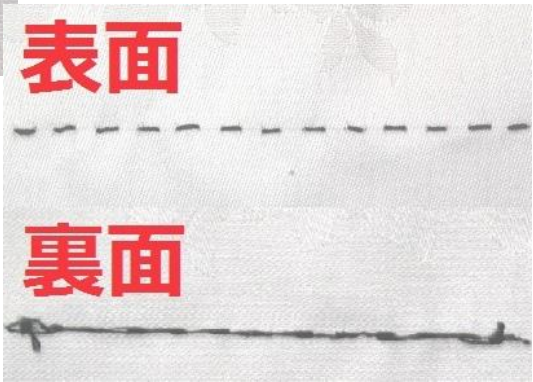
まち針で留めるとやりやすい

縫い始めは、柄布のほうから始める

<半返し縫い>

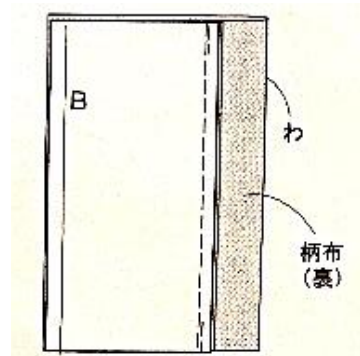


表からだと並縫いのように、裏からだと繋がって縫い目ができます。



4. B 側も布を重ね合わせ、しるしを付けたところを半返し縫いで縫う

さらし布を左側 (B) に端を合わせ、まち針でとめ、半返し縫いで縫う。



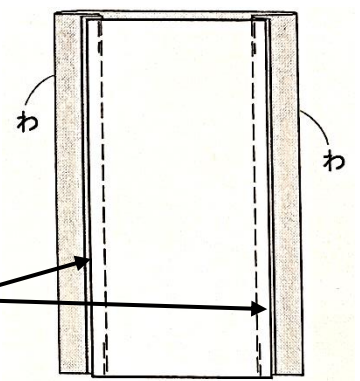
縫わない部分と、ひと針分先のところに針を出し、



ひと針分、戻る

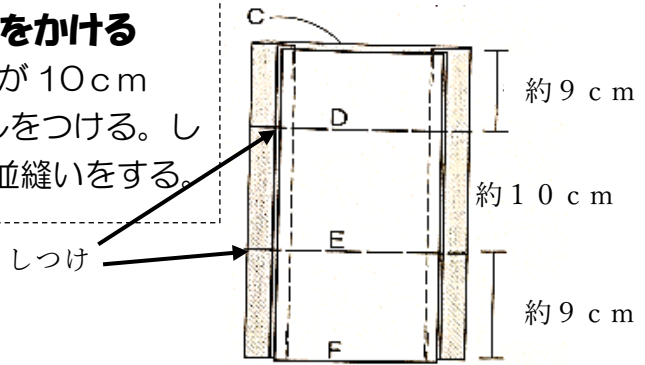
5. 両端が縫えたら、さらし布が中央にくるようにずらし、アイロンをかける(アイロンがない場合は手で跡をつける)

このとき、縫った端の部分(縫い代)は両端とも外側に倒しておく



6. 図のように D と E のところにしつけをかける

Dは9cm、Eは9cm、DからEの幅が10cm (もしくは10.5cm) になるようにしるしをつける。しつけは玉結びしない状態で大きな縫い目で並縫いをする。

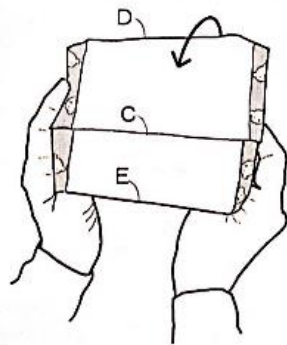
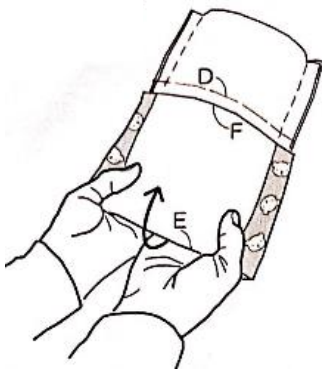


※しるしの上 (D線・E線) を大きな針目でしつけをすると、次の作業がしやすいでしょう

○しつけは、後で抜くので、玉結びはしないでおく。
○縫い目もおおまかでもよい

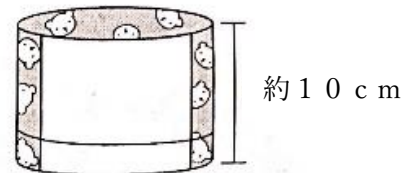
7. 図のように筒の中から手を入れ E 線で折り返す。同様に D 線でも折り返す

マスクの幅が約10cmになるように形を整える。形を整えたら、DとEにつけたしつけ糸を抜く。

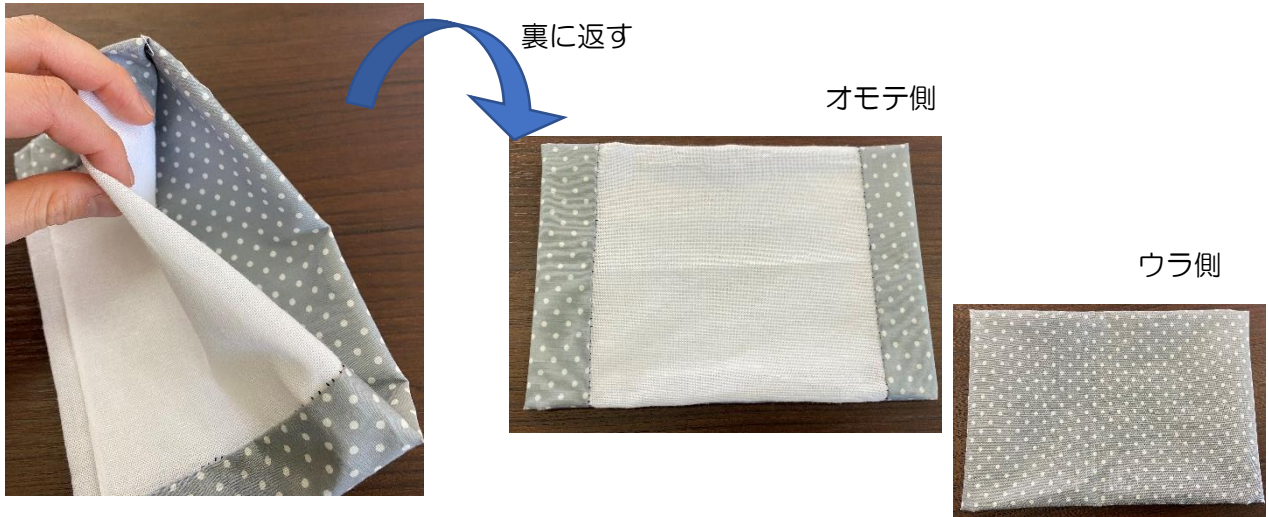
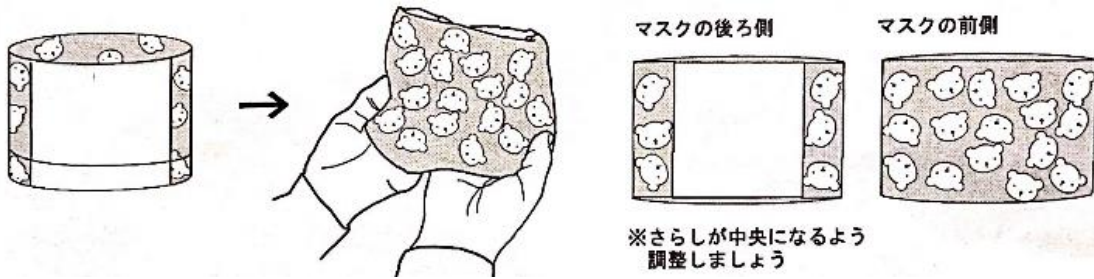


※しるしのしつけは、ここでははずします

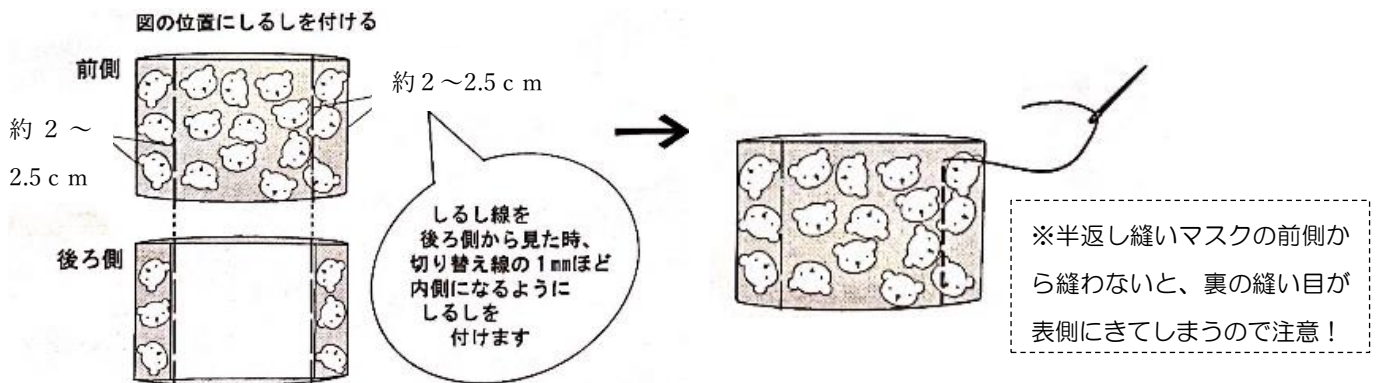
★この状態が、マスクの内側です



8. 折った部分が内側になるように、裏に返す。 さらし布が中央にくるように形を整える。



9. マスクの両端に、端から約2cmのところからマスクの前側にチャコペンでしるしを付け、半返し縫いで両端を縫う

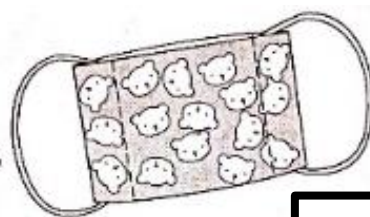


10. マスクゴムを真ん中で半分に切り、両側にゴムを通す。ゴムの長さを調節しながら結ぶ。

結び目はマスクの中に隠れるようにする



※結び目は、中に
かくすようにする



※洗濯してから使うようにしましょう

完成!

